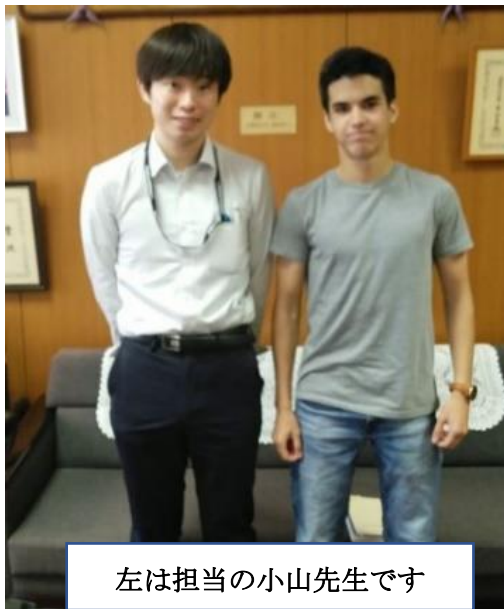




## 今回は、“アルゼンチン”から来ました。



左は担当の小山先生です

昨年度は、アフリカ西岸のガーナから留学生が来ましたが、今年度は南米のアルゼンチン（ラグビーW杯パリ大会で日本と対戦した国）からサントティ君が短期間ですが本校にきています。日本語は、オンラインを活用して独学で学んだということですが、十分意思疎通ができるレベルで驚きました。

アルゼンチンでは、10時に約束と言っても、11時になることが当たり前とのことですが、日本人の規律正しさや時間を守る姿に大いに共感し、将来は日本の大学で栄養学を学び、日本の女性と結婚し、日本に住みたいとまで話してくれ、“日本愛”にあふれていました。また、東京などの

都会より、飯田のような田舎に魅力を感じているとのことです。数学と化学の授業が楽しく、スポーツも大変好きなようで、本校でも空手班やラグビー班などの活動にも参加していますが、本校の生徒も良い影響を受けていると思います。

## “花園出場”を目指して、TRYを！



10月21日（土）、本校ラグビー班が花園出場（野球で言えば、甲子園出場）を目指して、飯田総合運動場で行われた準決勝に臨みました。相手はこれまで好勝負を繰り広げたきた宿敵の岡谷工業高校。スタンドは満席に近い観客で埋まり、大声援の中で試合が行われました。前半はほぼ互角の戦いでしたが、後半は本校得意の“ドライビングモール”などにより得点を重ね、47対24で勝利。

いよいよ、11月3日（金）には、長野市のUスタジアムで花園出場をかけて、飯田OIDE長姫高校との決勝戦に臨みます。同じ地区同士の決勝戦、ラグビーが盛んな当地区においてはとても意義があり、関係者が待ち望んでいた戦いであり、手に汗握る好勝負となることでしょう。3年ぶりの花園出場に向けて、大いに頑張ってもらいたいと思います。

